

糖尿病診断基準（2023）

●“糖尿病型”の判定基準：以下のいずれか1つを認めた場合

- ① 血糖値 空腹時血糖値 $\geq 126\text{mg/dl}$
- ② 血糖値 75g 経口負荷試験（OGTT）2時間値 $\geq 200\text{mg/dl}$
- ③ 随時血糖値 $\geq 200\text{mg/dl}$ 以上
- ④ HbA1c $\geq 6.5\%$

●糖尿病の診断

1. 上記の血糖値（①②③のいずれか）と④HbA1cが同一採血で“糖尿病型”を示せば、初回検査だけで「糖尿病」と診断。血糖値とHbA1cの同時測定を推奨。
2. 血糖値の①②③いずれかが“糖尿病型”を示し、かつ以下のいずれかを満たす場合には、初回検査だけで「糖尿病」と診断。
血糖値が“糖尿病型”に加えて、糖尿病の典型的な症状（口渇、多飲、多尿、体重減少）または確実な糖尿病網膜症。
3. ①～④のいずれかが“糖尿病型”と認められた場合、別の日（なるべく1ヶ月以内）の再検査で再び血糖値①から③の“糖尿病型”が確認されれば「糖尿病」と診断。HbA1cのみ反復検査では糖尿病と診断できない。
4. “糖尿病型”のいずれかを認めるが「糖尿病」と確定できない場合は、「糖尿病疑い」として3-6か月以内に「血糖値とHbA1cと同時に測定」して再判定する。

●OGTTを行なう場合の目安

糖尿病の典型的な症状、ケトアシドーシスのあるときには禁忌。

●強く推奨される場合

空腹時血糖が110-125mg/dlの者

随時血糖が140-199mg/dlの者

HbA1cが6.0-6.4%

●行なうことが望ましいグループ

空腹時血糖が100-109mg/dlの者

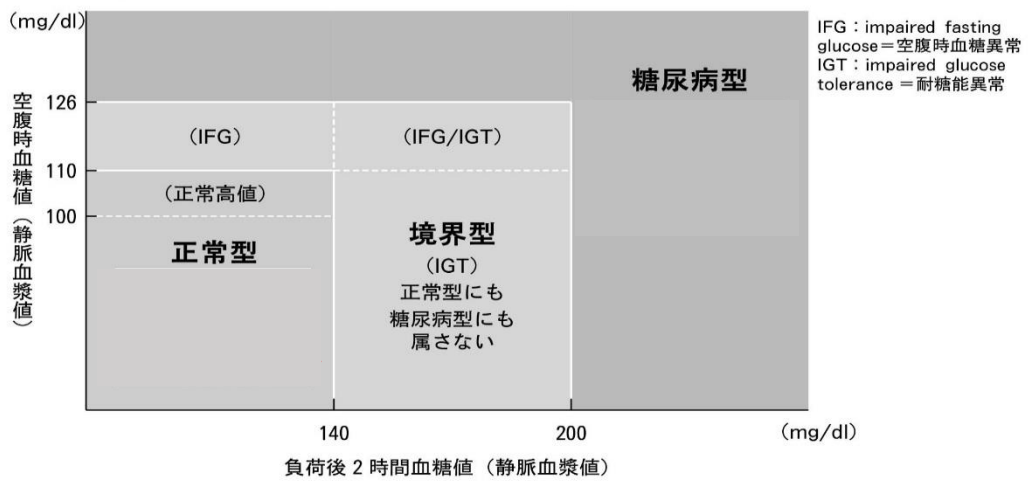
HbA1cが5.6-5.9%の者

濃厚な糖尿病の家族歴や肥満がある場合

●判断基準

- 1 正常
- 2 腎性糖尿：経口負荷試験で、正常型と判定されるが、負荷前または負荷後の糖尿が±以上である。
- 3 境界型（空腹時血糖異常、耐糖能異常）
- 4 糖尿病（①1型、②2型）

空腹時血糖値および 75 g OGTT による判定区分



(日本糖尿病学会編：糖尿病治療ガイド 2010，文光堂，東京，2010：22 より引用改変)